

平成30年度第1回千葉県博物館協議会会議 議事録要旨

日時：平成30年8月29日（水） 午後1時30分から3時30分

会場：千葉県立中央博物館 会議室

出席者：委員 - 岡本委員（議長） 内山委員 小野委員 浅岡委員

細井委員 齊藤委員 関沢委員 高橋委員 西田委員

博物館 - 美術館：太田館長 中央博物館：萩原館長

現代産業科学館：上田館長 関宿城博物館：谷鹿館長

房総のむら：永沼館長

文化財課－植野学芸振興室長

- 1 開会（傍聴人なし）
- 2 館長挨拶（千葉県立中央博物館 萩原館長による）
- 3 協議

## (1) 議長・副議長の選出

事務局：今回は、委員の改選後、初の会議です。博物館協議会運営規則第2条に

議長及び副議長は、委員の互選によって定める、とされております。委員

のみなさまの中から議長及び副議長を選出していただけますようお願い

いたします。

委員：議長については引き続き、岡本委員にお願いし、副議長については、平成

26年度・27年度に副議長だった西田委員にお願いしたいと思います。

事務局：ただいま、議長に岡本委員、副議長に西田委員の推薦がありました。み

なさま、いかがでしょうか。

委員：異議無し

事務局：それでは、議長を岡本委員、副議長を西田委員とすることと決定させて

いただきます。

事務局：それでは、博物館協議会運営規則第2条第4項の規定により、「議長が

会議を主宰する」こととなっておりますので、岡本議長に議事進行をお願

いいたします。

## (2) 各博物館の現状について

議長：各博物館の現状について、説明をお願いします。

各館長：(説明)

議長：それぞれの館の説明について、ご意見ありませんか。

委員：房総のむらの外国人来館者が増えているとのことですが、指定管理者ゆえの自由さというものはあるのでしょうか。

房総のむら：行事の企画や PR 活動については自由さが増す一方、職員の雇用については指定管理の受託期限があることから、職員のモチベーションを維持していく点で困難さがあります。

委員：ホームページの管理は職員が担当するのですか。あるいは、専門の方がいるのでしょうか。

中央博物館：職員の中で担当を決めて管理しています。ホームページ管理が専門の職員はおりません。

委員：学芸員がホームページを更新するのではなく、それに準じる職員が広報などに携わることも考える必要があるのではないのでしょうか。学芸員以外にコーディネーターや広報や外国人対応など、社会と接点のある職種とい

うのが現在あるのでしょうか。

房総のむら：様々な仕事を学芸員が行っているのが実情です。房総のむらでは経営アドバイザー会議があり、広報などへの提言はそこで受けることができます。

委員：指定管理制度が必要とされる背景には、費用対効果が悪いという評価があるのではないのでしょうか。広報に漫画を取り入れてみたり、風景のよさを活かしてみると、やり方次第では来館者がたくさん来るのではないのでしょうか。学芸員だけでなく、高校生や大学生にボランティアで企画・運営に参加してもらうのも良いと思います。

関宿城博物館：関宿城博物館では、商工会青年部と協働してイベントを企画し多くの来館者を得ているところです。

委員：美術館についての説明の中で、関東 6 館の中で最も予算額が低いというのは、千葉県内には美術館・博物館が多いという背景があるためでしょうか。

関宿城博物館：そのような面もあります。美術館の多い東京にも近く、千葉市美術館もあるため、千葉県ゆかりの作家をわかりやすく紹介することに努

めています。

委員：中央博物館については特に意見はありません。現代産業科学館の調査研究費が少額と思いますが、どうですか。

現代産業科学館：大きな研究成果は企画展に結びつくよう計画しているので、予算的には融通して実施しています。

委員：関宿城博物館は、以前も提案しましたが、立地を活かして近くに船着場を作ると良いのではと思います。房総のむらは、指定管理制度の自由さを活かして、もっとレストランなどを充実させてはどうでしょうか。

### (3) 今期の協議テーマについて

議長：続きまして、今期の協議テーマについて、に移ります。

事務局：当博物館協議会では、平成28年度から各館ごとにテーマを設定して、その内容について審議していただいております。今期も引き続き、各館ごとに課題となるテーマを設定することとし、資料2のとおり、提案させていただきました。2年間、これらのテーマについてご審議いただければと思います。

議長：ご意見、ご質問、ございますでしょうか。

委員：現代産業科学館の「連携事業について」というテーマは、もう少し具体的にはどういった事業をお考えでしょうか。

現代産業科学館：近隣工業高校、大学、教員のための博物館の日、職場体験、インターンシップ、商工会議やNPO法人との連携事業、展示運営協力会などとの連携について取り上げていきたいです。

委員：美術館の「展示と関連行事に関する事業運営について」というテーマについても具体的に説明していただけないでしょうか。

美術館：「みる・つくる・かたる」を当館の理念としています。今年度は彫刻をテーマにした展示を行う予定です。展覧会に伴いギャラリートークやワークショップなど、どのような関連行事を行うかをテーマにする予定です。

委員：博物館のあり方について、変わることが必要だとして、今まであったものがなくなってしまうだけでは悲しいです。新しいものを取り入れて作り出していくということが今後の方向性ではないでしょうか。博物館・美術館は、県民から“質”を維持していくことも期待されていると思います。今

後は各館のテーマを通して良いところを探していきたいです。

議長：各館のテーマのもと、今後への危機感も持って、各館の現状がわかるように議論を進めていきたいです。

委員：新しい委員の方も多いのでお話しすると、各館の掲げるテーマというのは入り口で、全体的な問題点について言いたいことを発言していただいて良いと考えてください。

#### (4) その他

議長：その他に何かございますか。

委員：県とは関係がない話題ですが、沖縄県に自然史の博物館を作るという動きがあり、設置準備委員会を立ち上げ自分も委員となっています。千葉県も、特に自然誌系の分野のある中央博物館は、自然史研究と教育を全国的に盛り上げるという意味で注目してもらいたいので、お知らせします。

議長：それでは、事務局にお返しします。

事務局：(閉会挨拶)